

An illustration of three samurai in a dynamic battle pose. The samurai in the center wears a white and black kimono and a headband with a circular ornament. He is flanked by two samurai in blue and white kimonos. They are all holding swords and appear to be in the middle of a fight. In the background, there are flags and a hazy, battle-torn landscape.

研究支援いつやるの？

今でしょ！

－ 3人のメンデレー侍が斬る！スカラリーコミュニケーションの未来－

農林水産研究情報総合センターにおける メンデレー機関版を用いた研究支援

農林水産研究情報総合センター
林賢紀

tzhaya@affrc.go.jp

研究支援いつやるの？ 今でしょ！

－ 3人のメンデレー侍が斬る！ スカラリーコミュニケーションの未来 －

2013年10月29日(火) 13:00-14:30 第15回図書館総合展フォーラム 第6会場 パシフィコ横浜

はじめに

図書館員は研究者が
「何をしているか」
を知っていますか？

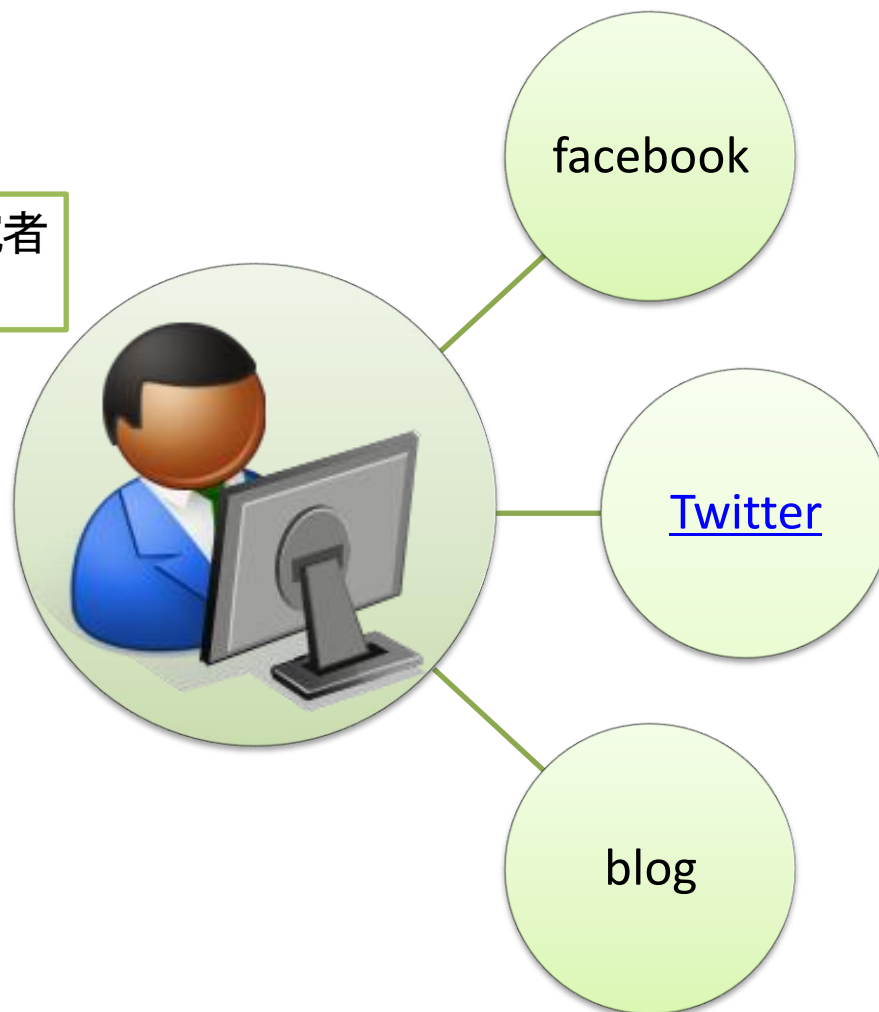
研究成果を説明できますか？

どうやって？

- 機関リポジトリに登録する／される論文から
- ILLの依頼内容から
- 図書購入依頼から
- 研究紀要から
- プレスリリースから
- などなど

いやいやもっとある

SNSやblogを追うだけでも研究者の「日常」が見える



農林水産省では

農林水産研究情報総合センター 概要

- 茨城県つくば市に所在
- 1978年10月発足
- 1984年4月より国立国会図書館支部農林水産省図書館の分館
- 農林水産省研究ネットワークを活用し全国へサービスを行う

	タイトル数	冊数	増加数(概数,年)
図書	169,245	176,976	4,000
雑誌	22,349	151,299	3,500

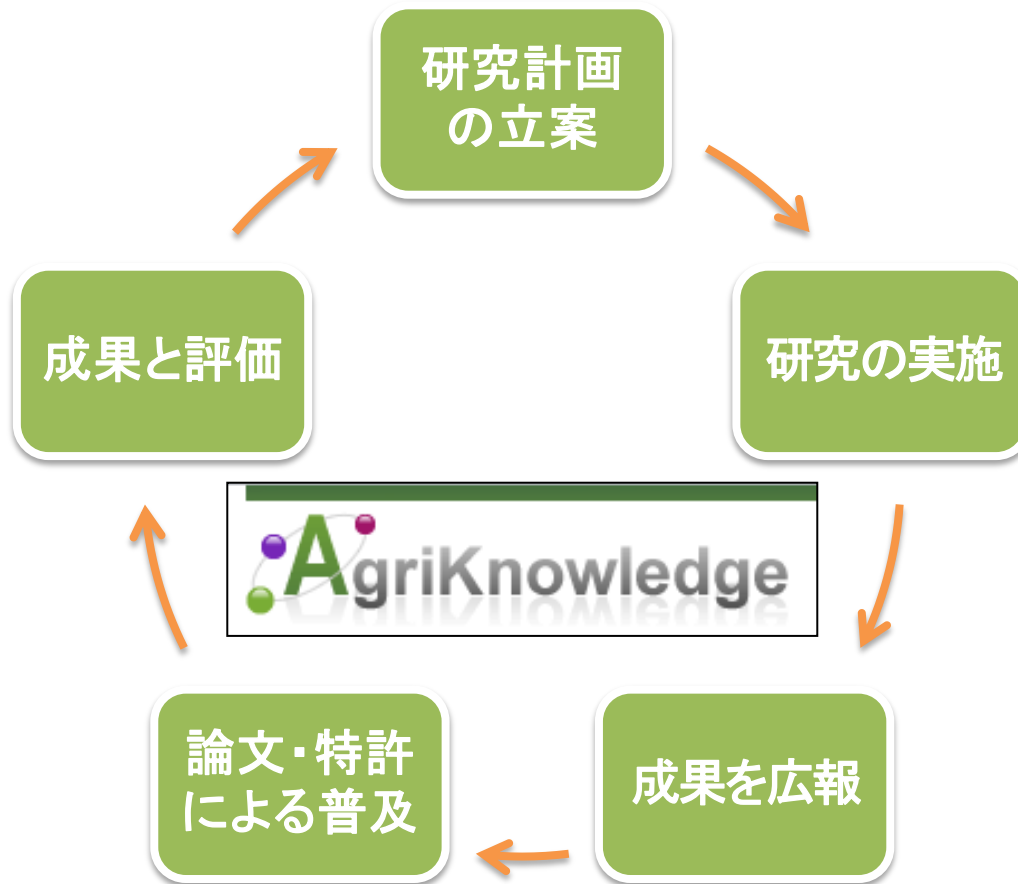
(平成24年度末)

主なサービス

AGROPEDIAによる農学関係研究情報の提供

- 農林水産関係試験研究機関総合目録
- JASI(日本農学文献記事索引)
- AGROLib(農林水産文献ライブラリ)
- 研究成果情報
- 研究課題・業績データベース
- 写真でたどる農機具の発達史
その他

研究の実施から成果までを データベースで提供



<http://agriknowledge.affrc.go.jp/>

利用者の声を知る



TOYOSHIMA Kazuto @zevonkeirin

10月8日

というかこのデータベースちょう便利。こんなんあるの知らなんだー。 agriknowledge.affrc.go.jp

詳細



Takanori Hayashi @tzhaya

10月8日

@zevonkeirin ありがとうございます！ご意見や感想などをお寄せ頂ければうれしいです。

詳細



TOYOSHIMA Kazuto

@zevonkeirin



フォロー中

@tzhaya ブロッコリーの要素障害についてググってたどり着きました。サクサクさとひと目で使い方がわかるユーザーインターフェースに感激してます。こちらこそありがとうございます。

← 返信 ↺ リツイート ★ お気に入りに登録 ... その他

2013年10月8日 - 19:04

口コミからアクセス向上

研究情報アクセスランキング

- 1 [イチゴ炭疽病潜在感染が検出できる簡易検定法の改良](#)
- 2 [水稻品種「にこまる」の「ヒノヒカリ」と比較した育苗時の生育特性](#)
- 3 [天敵への影響を考慮したブロッコリー害虫の薬剤防除法](#)
- 4 [ニホンミツバチとトウヨウミツバチの系統遺伝的解明](#)
- 5 [そうか病に強い抵抗性を持つ、生食用ばれいしょ新品種「スノーマーチ」](#)

10月上旬の1位からランクダウン
現在も3位！

研究成果への「気づき」

「農林水産研究」を様々な側面から

論文アクセスランキング

- 1 「安全で信頼性、機能性が高い食品・農産物供給のための評価・管理技術の開発」(食品・農産物の表示の信頼性確保と機能性解析のための基盤技術の開発)[信頼性(第2/3編)](プロジェクト研究成果シリーズ492)
- 2 スギ・ヒノキ採種林の結実促進施策に関する試験
- 3 マルチキャビティコンテナを使った広葉樹苗の育成
- 4 食品の生体調節機能に関する研究 第8章 生体調節機能に着目した加工食品の開発に関する動向 穀類
- 5 低コストで質の良い加工・業務用農産物の安定供給技術の開発 第1分冊(1系 野菜)(プロジェクト研究成果シリーズ484)

研究情報アクセスランキング

- 1 イチゴ炭疽病潜在感染が検出できる簡易検定法の改良
- 2 水稻品種「にこまる」の「ヒノヒカリ」と比較した育苗時の生育特性
- 3 天敵への影響を考慮したブロッコリー害虫の薬剤防除法
- 4 ニホンミツバチとトウヨウミツバチの系統遺伝的解明
- 5 そうか病に強い抵抗性を持つ、生食用ばれいしゅ新品種「スノーマーチ」

ナシの病気

ハウスでの
水耕栽培

鮮度保持

機能性食品

大根の
生育障害

鳥害の防止



こんな質問にも回答

「なめくじ」はどこで買えますか？

くらげを利用して化粧品を開発できるか？

桑の葉で茶を製造販売したい。入手先は？

タニシは養殖できる？

**図書館雑誌2013年6月号
「レファレンス三題噺」に掲載されました！**

Mendeley導入までの経緯

Mendeleyとはなんですか？

- 文献管理ツールのひとつ
- デスクトップクライアント、Web,iPhone,iPadなどで利用可能
- 「グループ」の作成と参加により、文献情報の共有が可能
- 自著のセルフアーカイブと公開が可能
- ソーシャルネットワーク的機能も有する
 - グループ内でのディスカッション
 - ユーザ間の簡易メッセージ送信
 - 登録論文の検索

Mendeley機関版は何が違う？

自機関ユーザの利用領域のアップグレード

- 有償版相当に領域が拡張される

自機関ユーザの利用動向の統計把握

- 登録した文献の雑誌別件数
- 公開した文献の雑誌別件数、公開数の多いユーザ
- 公開した文献の閲覧数(登録数)の雑誌別件数と閲覧数の多いユーザ
- ユーザが参加しているグループと参加人数

機関内共通機能の利用

- リンクリゾルバや購読雑誌の設定
- 引用文献書式の設定


導入のもくろみ(たくらみ)

- 文献管理ツールへの関心は高い
- 「共同研究者との文献情報の共有」のニーズは高い
- セルフアーカイブ、機関リポジトリ(未導入)のニーズ把握に使えないか？
- APIが高機能そう




出会い、機関版契約、現在

2011年

- 2月 : Code4Lib ConferenceでMendeley機関版のプロトタイプデモに触れる
 - 12月 : SPARCセミナーの直後にSwetsにコンタクト、課内での検討開始
- 

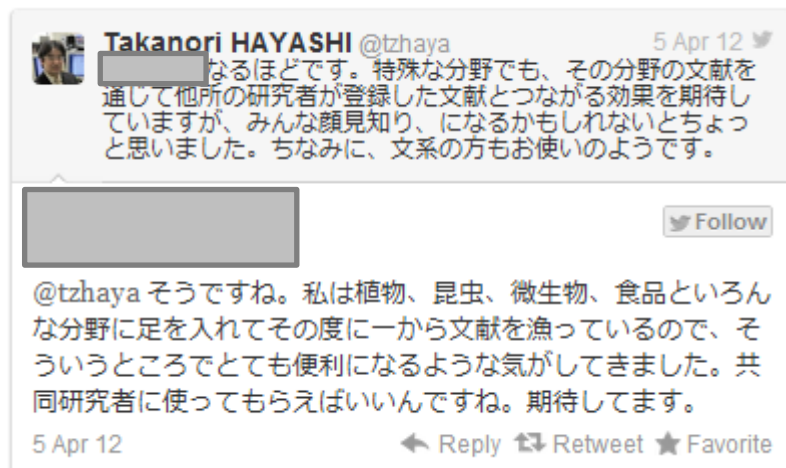
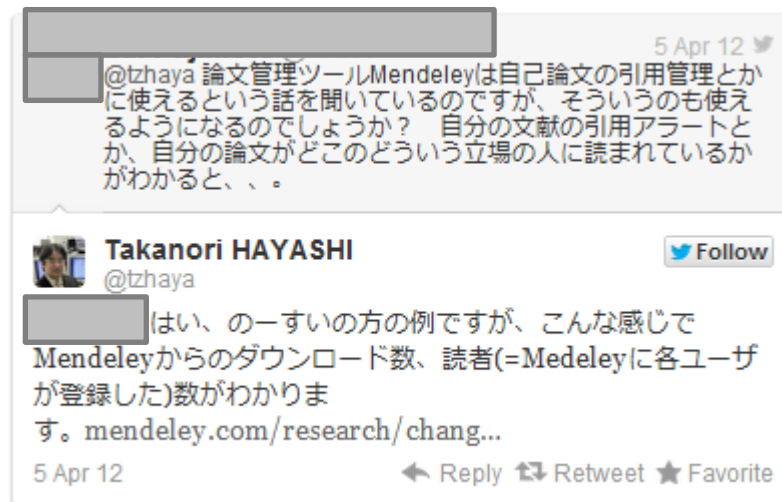
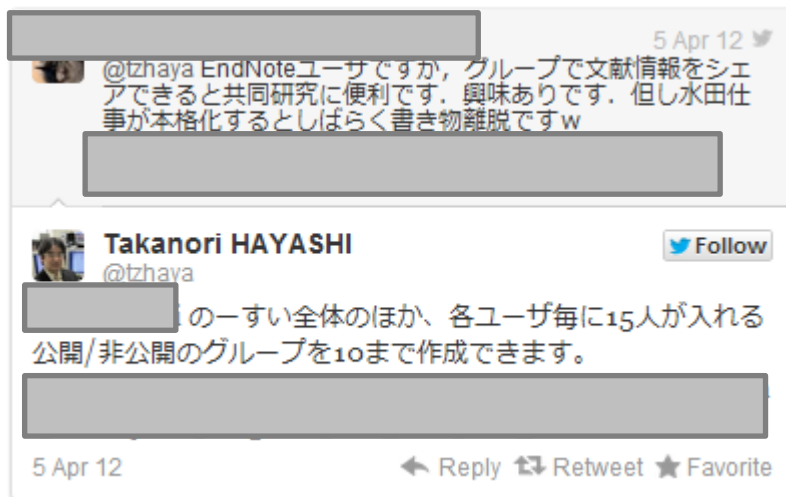
2012年

- 省内研究者のうち、Twitterのヘビーユーザにトライアルを打診、5月から17名参加
 - 7月 : 機関版契約、40名登録
- 

2013年

- 統計情報の利用開始
- 104名登録

利用者の声(2012年4月)



Twitterで
研究者に
聞いてみた

統計情報の利用

研究者の情報利用動向を どこまで把握できているか

- 全国的な動向
 - 学術情報の取得動向と電子ジャーナルの利用度に関する調査(学術図書館研究委員会(SCREAL), 2007)
- 個別の動向
 - 電子ジャーナル, データベースのCOUNTER準拠のログなどを集計

Altmetrics

- “Alternative metrics”を意味する造語
- 論文やデータセットなど様々な研究成果物の影響度をソーシャルメディアの反応を中心に定量的に測定する手法
- Altmetricsの特徴は即時性と多様性の2点にまとめられる。従来の引用分析が結果の出力に数年要するのに対し、Altmetricsでは数日から数週間ほどと速い。
- 収集対象となる情報はTwitterやFacebookなどのソーシャルメディアが中心であり、専門家以外への影響度も計ることが可能である。

（「新たな論文評価指標Altmetrics: 図書館員が利用者に対して行うべき支援」ユサコニュース, 第240号, 2013, http://www.usaco.co.jp/u_news/un2fc240.html）

Altmetricsの視点から捉え直す

	scholarly	public	これまでの 把握手段
Recommended	Faculty of 1000	Popular press	Faculty of 1000 レビュー記事
Cited	Traditional citation	Wikipedia	引用文献 Impact factor(雑誌 単位)ほか
Discussed	Scholarly blog	Blogs, twitter	???
Saved	Mendeley, citeulike	Delicious	???
scholarly	PDF views	html views	COUNTER準拠ログ

Jason Priem. “Altmetrics: The Next Step for Open Access”.第3回 SPARC Japan セミナー2013
「オープンアクセス時代の研究成果のインパクトを再定義する: 再利用とAltmetricsの現在」,
2013-10-25の発表スライドを元に筆者が補足

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2013/20131025.html>

Mendeleyの統計と 電子ジャーナルアクセス統計を比較

Mendeley集計対象

- Mendeley登録ユーザ数約100人
 - Biological Science (70%)
 - Environmental Science (30%)

電子ジャーナル集計対象

- アクセス統計が集計できるもの
 - Proceedings of the National Academy of Sciences
 - BioMedCentralのOA誌

F1000Primeでの推薦状況

- 雑誌タイトルで推薦論文数を検索

集計結果

	雑誌タイトル数	論文数合計	一誌あたり平均
Mendeleyに論文が多く登録された雑誌(=よく読まれている雑誌)	977	28,348	29.01
Mendeleyから公開用に登録された自著が多い雑誌(≡投稿先)	118	234	1.98

ジャーナル/パッケージタイトル	タイトル数合計	アクセス数合計	Mendeley登録数
Proceedings of the National Academy of Sciences	1	17,451	640
BioMedCentral	194	20,078	293

Mendeleyに論文が多く登録された雑誌 (=よく読まれている雑誌)

順位	雑誌タイトル	自著公開誌 順位	F1000 Prime
1	Tree Physiology	5	8
2	PLANT PHYSIOLOGY	27	434
3	Molecular Ecology		91
4	Forest Ecology and Management	31	9
5	New Phytologist		0
6	Plant Cell & Environment		0
7	Proceedings of the National Academy of Sciences	20	4
8	Journal of Experimental Botany	13	59
9	Nature		4,841
10	Genetics		375

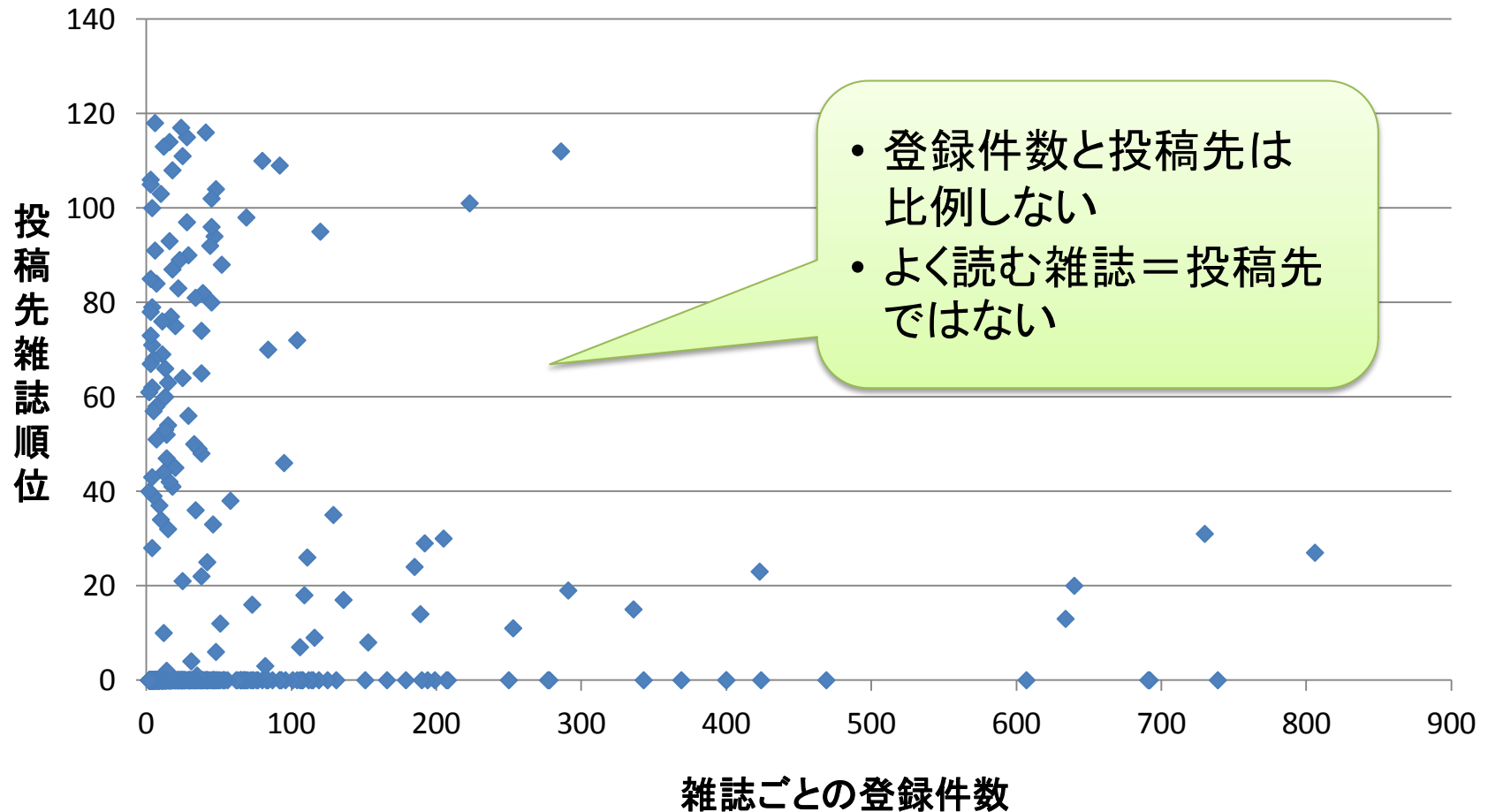
Mendeleyから公開用に登録された 自著が多い雑誌(≡投稿先)

順位	雑誌タイトル	論文登録誌 順位	F1000 Prime
1	Applied Entomology and Zoology	152	0
2	Animal Science Journal	294	0
3	Fisheries Science	69	0
4	Scientia Horticulturae	171	0
5	Tree Physiology	1	8
6	Journal of Fish Biology	106	1
7	Applied and Environmental Microbiology	52	273
8	Journal of Forest Research	36	0
9	PLoS ONE	44	1,364
10	Grassland Science	329	0

登録論文、登録先と 電子ジャーナル(BMC)のアクセス件数

タイトル	投稿先順位	登録数順位	アクセス件数 順位
Proceedings of the National Academy of Sciences	20	7	N/A
BMC Genomics		46	1
BMC Plant Biology		89	2
BMC Bioinformatics		205	3
BMC Evolutionary Biology		161	4
Plant Methods		359	5
BMC Genetics		239	7
BMC Microbiology		635	9
BMC Biology		363	11
BMC Ecology		633	16
BMC Developmental Biology		969	24
Biology Direct		886	30
Algorithms for Molecular Biology		710	53

登録論文と投稿先



まとめ

- アクセスの全数を把握できる雑誌について、Mendeley登録件数との比較を行った
 - JSTOR、Springer Online Archive Collectionなども購読しているが、カレント分を購読していないのでログが入手できない

登録件数と投稿先は一致しない

- よく読まれる雑誌が投稿先ではない

登録件数とアクセス件数はある程度比例する

- BMCで比較したところ、ある程度順位が一致している

推薦の有無

- F1000Primeで検索
- よく読まれる雑誌が推薦されていることがある
- 掲載分野に差違がある

得られた知見と今後の計画

- 得られた知見

- EndNote Webなどでは使われ方まではわからない
 - 登録者の氏名とメールアドレス、IPアドレス別login回数、文献登録数など統計は取れるが内容は不明
- TwitterやMendeleyからの利用状況を把握
 - これまでとは違った視点で購読雑誌を見る

- 今後の計画

- より詳細な分析手法の検討
- Mendeleyのグループ機能の使われ方を見たい